

「道の駅」アンケート調査結果

1 優先的に取り組むべき町の課題

(選択比率 単位：%)

まちづくり の課題	回答 者数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		まちの 顔	子 ども	協 働	産 業	自 然	防 災	教 育	休 日 保 育	高 齢 者	タ ク シー	広 場 公 園	道 路
全体 (回答者)	252 人	23.4	7.1	24.2	19.0	15.9	27.8	37.3	9.9	38.1	20.2	22.2	28.2
タウンミーティングでのアンケート													
20・30 歳代	7 人	14.3	14.3	28.6	42.8		42.9	57.1	14.3	0	28.6		42.9
40 歳代	7 人	28.6	14.3	28.6	28.6	28.6	42.9	14.3	14.3	28.6	14.3	14.3	28.6
50 歳代	29 人	27.6	6.9	10.3	17.2	13.8	13.8	34.5	10.3	13.8	24.1	27.6	27.6
60 歳代	52 人	21.2	3.8	28.8	21.2	25.0	26.9	32.7	13.5	40.4	15.4	23.1	23.1
70 歳代	115 人	21.7	8.7	26.1	17.4	15.7	35.7	42.6	7.8	46.1	20.0	21.7	28.7
80 歳以上	25 人	36.0	8.0	16.0	8.0	8.0	16.0	44.0	16.0	56.0	36.0	32.0	44.0
未回答	8 人	12.5			12.5								
ウェブ等アンケート	9 人	22.2		55.6	44.4	11.1	11.1	22.2		22.2	11.1	22.2	22.2

凡例
40%以上
30%以上
25%以上

1	セントラル開発と一体となった新たなまちの顔づくり
2	子どもが楽しめる場の充実
3	子どもから高齢者までが交流し、協働できるまちづくり
4	産業の活性化、買い物・雇用環境の改善
5	自然環境の保全・活用
6	大規模災害への対応・地域の防災力向上
7	学校環境の整備等による教育環境の充実
8	土日祝日保育の導入等による子育て環境の充実
9	高齢者の社会保障負担の軽減
10	呼び出しタクシーの導入等 IT を活用した誰もが便利なまちづくり
11	緑あふれる住環境とみんなが集える広場・公園の整備
12	渋滞のない、事故が起きない道路の整備

2 アンケート記載内容のまとめ

アンケートの間2から間4でいただいた主な意見等については、以下のとおりです。

(1) 本町のまちづくりの課題及びその解決に向けて実施すべき施策・対策の提案

提起されたまちの課題	提案された対策
町外の人を呼び込める施設がない	「ららぼーと」の集客性を利用し、相乗効果を狙った事業を起こす
公共施設の充実	近隣市に比べ図書館が貧弱であるため、いこまい館に機能を付加し、文化・教養面に力を入れる。 図書館でのパソコン利用、Wi-Fi環境、自習室の整備。
子育て支援の充実	目に見えにくい貧困対策を実施するため、子ども食堂等へ積極的に支援する
町民が協力し合う地域づくり	コミュニケーションの充実を図るため、各地区で世代間交流を行い、地区同士が年2回くらい交流する
子どもがいる家庭は休日に町外へ行ってしまい町内でお金を使わないため、道の駅のような人が集まる施設も必要。 町の農産物の販売をするにも種類・質・量が貧弱。	商業施設・工場・営業所等、雇用の場を誘致。 町内産業関係者ととともに新しい農業のあり方を検討。
高齢者及び免許証返納者が増加しているため公共交通手段の充実。 公共交通機関の整備等交通利便性の向上。	公共交通機関との連携により交通網を整備する。 名鉄バスや町バスの路線、運行回数の増便、行路の検討などを行い、他市町への足を確保する。
自然災害に強いまちづくり	災害対応ができる場の整備。 広範囲における防災倉庫の設置。
全保育園・小中学校に「エアコン」「洋式トイレ」整備	学校のエアコン設置、トイレの洋式化及び体育館トイレのリフォーム
教育環境の整備	夏季及び冬季の学校環境の整備。 小中学校の英語教育の向上。

町発展には整備された道が必要。 生活道路での安全確保。	町内道路及び歩道の整備・補修。 道路の拡幅。
ボール遊び、グラウンドゴルフができる「公園のまち」	町民が触れ合える広場の整備。 安心安全に遊べる公園の整備。
諸輪東部開発の積極的な推進	北東部の開発
企業誘致等に力を入れ、税収増を図る	税収を増やし、町の活性化につなげる
若い世代の転入を促す施策の実施	大学の誘致等、学園都市にする
住みたいと思えるような魅力あるまちづくり	「ららぽーと」の中に町の魅力を発信できるものを整備
高齢者の活動施設の検討	シニアハウスの整備
郷土愛や誇りを持てる地域文化を育む	町民の希望を聞き、老若男女が参加可能なイベントを企画
誰もが元気に暮らせる健康づくり	医療費を削減するため、東郷体操やウォーキングで健康づくりを行う

(2) 道の駅事業や計画の内容に対する意見

- ・ 近隣の商業施設に勝てるような道の駅の物販施設の検討が必要
- ・ 歴史・地学・国際交流コーナーなどを設け、展示やウォーキング、交流イベントなどを開催すべき
- ・ 建設事業費 30 億円はどこから出るか疑問
- ・ 道の駅に税金を使うより他に使ってほしい
- ・ 道の駅で挙げる課題の中には「ららぽーと」整備により解決できる課題もあると思う
- ・ 渋滞の起きやすい国道 153 号に道の駅を整備しても利用しない
- ・ 道の駅で子育て環境の優位性を保持できるということが疑問
- ・ 道の駅で緑豊かな自然環境の保全と活用をどのようにするか疑問
- ・ 「ららぽーと」とともに町の発展のために道の駅を整備してほしい
- ・ 現在は福祉施策やセントラル開発等を成功させることが重要であるため、道の駅は不要
- ・ 防災機能以外は近隣施設で対応できるため道の駅は不要
- ・ 財政負担が大きいため、道の駅は中止すべき

(3) 今回開催したタウンミーティングに対する意見、感想

- ・ 行政・町民意見を知ることから考え、判断するため来たがよい時間だった
- ・ 様々な意見が聞けて良かった
- ・ 道の駅の計画が不明であるため、ビジネスモデルや収支計画などを提示してほしい
- ・ 小中学校のエアコン設置と道の駅は比較することでない
- ・ 道の駅で取り上げた課題が具体的にどのように解決に結びつくか提示してほしい
- ・ 道の駅について少しでも知りたかったので良かった
- ・ 道の駅の賛否は町長選挙で決定しているため、タウンミーティングを開催する必要はない

(4) 今後のタウンミーティング開催に向けての意見、要望

- ・ 定期的な開催
- ・ 参加者は高齢者が多く年齢層が偏っているため、全小中学校でタウンミーティングを開催して子ども・親世代から意見を聞くなど、様々な世代で議論すべき
- ・ もう少し小さい会場で開催した方が意見を言いやすい
- ・ 参加者が増える周知方法の検討
- ・ タウンミーティングからより多くの課題を吸い上げ、会議を開催して町政を盛り上げてほしい

(5) 道の駅以外の町の事業に対する心配、留意点、要望

- ・ 公約実現は重要だが、道の駅を中止する場合、将来のケアをどうするかが大切
- ・ セントラル開発に力を入れ、その様子を見て道の駅を考えてもよい
- ・ セントラル開発に集中して取り組んでほしい
- ・ 買い物や町内の移動をしやすくしてほしい
- ・ 歩道をきれいにしてほしい

(6) 町政を進める上で必要なこと、留意点に関する提案

- ・ 将来を見据えた計画づくり
- ・ 町民に寄り添った行政運営
- ・ 限られた財源で身の丈に合った行政運営
- ・ 近隣市町との対等連絡委員会を設置し、少子高齢化に対する近隣市町と協議と共成を図る
- ・ 丁寧な説明及び発信をするため、ホームページや広報で資料等を提示
- ・ 町長と話す機会づくり
- ・ 課題の解決策については行政が考えることであるため、まず提示するべき

(7) 町に対するその他意見

- ・ 税金の使い道を見直し、健全な町政運営を実施
- ・ 少子高齢化を見据え、バラマキ的支出を抑え将来に対する財政健全化を図る
- ・ 税収増に取り組むため、税収を確保できる施策を実施
- ・ 今後人口減少が進むと今の施策では対応できないため、先進的な施策を実施し、全国にPRしてベッドタウンとして勝ち抜く
- ・ 若い世代が魅力を感じる事業に税金を使ってほしい

(8) その他

- ・ 道の駅を整備しない場合、先進的な施策を実施しなければ町はただの田舎
- ・ 朝日・夕日が美しく見える風景を残してほしい
- ・ 若い世代が増えた時、自治会がどうなるか不安
- ・ 町会議員に町民の意向を聞く姿勢が不足している